

第3章 目標とする環境像

1 目標とする環境像

本市は、水と緑の恵み豊かな自然環境に生まれ、舟運により発展した歴史と伝統文化が息づく古い町並み、河川、水路などの水郷地帯や田園風景が、今も残されている地域です。

豊かな自然環境と長い歴史の中で育まれてきた本市固有の伝統や文化について、先人の教えを学びそれを守っていくと同時に、将来にわたって健康で豊かな生活を続けることのできる、あたたかな心かようまちづくりを目指していきます。

豊かな自然に育まれた人と歴史
あたたかな心かようまち 香取



田園風景



重要伝統的建造物群保存地区



利根川

2 基本目標

本市が目標とする環境像「豊かな自然に育まれた人と歴史 あたたかな心かようまち香取」の実現に向けて、本計画が目指す10年後の香取市のイメージを5つの分野ごとに描いてみました。

これらの将来イメージを「目標とする環境像」を実現するための基本目標として位置づけ、市民、事業者及び市の協働のもとで、将来イメージの実現に向けた取組を進めていきます。

なお、目標とする環境像や基本目標を実現するために実施する環境施策は、同時に市の福祉の向上や経済活性化、快適なまちづくりといった環境以外の分野にも好影響を与えることが予想されます。

そこで、環境施策の実施が本市の社会・経済などの複数の異なる課題の解決と相互に関連していることを示すため、それぞれの基本目標に関連するSDGsを標記しました。

標記したSDGsは、本計画の推進によって達成されるゴールであると同時に、第2次香取市総合計画をはじめとする本市の各種計画の推進によって達成されるゴールでもあることを認識しながら、施策の展開を図っていくものとしします。

基本目標

I

循環型社会の実現

～ごみを出さないライフスタイルを実践するまち～

できる限りごみを出さず、ものを捨てずに大切に使う生活や事業活動が定着し、分別排出も徹底され、焼却処理されたり、最終処分されるごみの量が減り、市民1人が1日当たりに排出するごみの量が少ないまちになっています。

【関連するSDGs】



基本目標

Ⅱ

安心・安全社会の実現

～快適な生活環境を未来に伝えるまち～

大気や騒音、放射線などに対する調査・監視・指導の継続により、環境基準を達成し、公害への苦情が減っています。また、事業所・工場などの排水対策、家庭の生活排水対策が進み、河川の水質が改善されています。

雨水の貯留やかん養能力を持つ農地、森林が保全され、河川流量の維持や地下水の保全が図られるなど、人類共通の財産である水が健全に循環するまちになっています。

歴史的な町並み景観や四季が感じられる豊かな自然景観が維持され、心が落ち着くまちになっています。

【関連する SDGs】



基本目標

Ⅲ

自然共生社会の実現

～生物多様性の恵みを未来に伝えるまち～

自然が多く残されており、里山や水辺などの自然空間が市民や事業者との協働で手入れされ、多様な生き物や植物が確認でき、自然観察会やホテル観賞会の開催が活発になっています。

また、自然とふれあえる機会や場も広がり、暮らしの中で自然の豊かさを実感できるまちになっています。

【関連する SDGs】



基本目標

IV

低炭素社会の実現

～COOL CHOICE を実践するまち～

家庭や事業所における COOL CHOICE^{※1}運動が定着しており、「賢いエネルギーの使い方」が当たり前になっています。

太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの設備導入も進み、無駄なエネルギーを消費しない構造の住宅や工場、事業所が増え、電気自動車や燃料電池自動車が普及しつつあるなど、まちの低炭素化が進んでいます。

さらに、地球温暖化への適応の取組も進められており、短時間の集中豪雨などによる浸水被害や土砂災害、熱中症にかかる危険が少ないまちになっています。

【関連する SDGs】



基本目標

V

環境保全活動の拡大

～協働による環境活動を実践するまち～

自然と歴史・文化にあふれた香取を愛し、家庭や学校、職場など様々な場面で、環境問題について正しい知識を学び、その解決に向けて積極的に行動できる市民や事業者になっています。

古来より連綿と続く生活の場、働く場としての香取を、より豊かにして未来の子どもたちへ引き継ぐため、市民、事業者及び市が協働してさまざまな環境保全活動に取り組む、環境にやさしいまちになっています。

【関連する SDGs】



※1 COOL CHOICE：省エネ行動や低炭素型の製品の購入など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をすること。

コラム：COOL CHOICE 運動



未来の
ために、
いま選ぼう。

「COOL CHOICE」とは、低炭素社会実現のため、省エネ・低炭素型の製品、サービス、行動など地球温暖化対策のあらゆる賢い選択を促す国民運動のこゝとです。

節電や節水などの普段の省エネ行動に加えて、高効率な照明に替える、公共交通機関を利用するという「選択」、例えば、エコカーを買う、エコ住宅を建てる、エコ家電にするという「選択」など、身近な生活のなかで未来のために低炭素な行動を選択し、実践するライフスタイルです。

本市では、「COOL CHOICE」に賛同し、2014年10月に賛同登録を行いました。COOL CHOICE 事務局では、個人、企業を問わずに賛同登録を呼びかけています。下記のウェブサイトから賛同登録ができますので、ご協力をお願いいたします。

COOL CHOICE 公式ウェブサイト：<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>

【COOL CHOICE 運動ポスター】

COOL CHOICE

未来のために、いま選ぼう。

地球温暖化対策のための国民運動
「COOL CHOICE (=賢い選択)」

2015年、すべての国が参加する形で、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を2度未満にする(さらに、1.5度に抑える努力をする)こと、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出されました。日本は、2030年に向けて、温室効果ガス排出量を26%削減(reduction)する目標を掲げています。「COOL CHOICE」は、この目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

身近な生活のなかで、未来のために、いま選べるアクションを選び、あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」に参加してください。

ぜひ「COOL CHOICE」に、ご賛同をお願いいたします。詳しくは「COOL CHOICE」公式HPへ!!

環境省 エコアクション 100

地球温暖化対策のための国民運動
「COOL CHOICE (=賢い選択)」

2015年、すべての国が参加する形で、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を2度未満にする(さらに、1.5度に抑える努力をする)こと、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにする目標が打ち出されました。日本は、2030年に向けて、温室効果ガス排出量を26%削減(reduction)する目標を掲げています。「COOL CHOICE」は、この目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

身近な生活のなかで、未来のために、いま選べるアクションを選び、あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」に参加してください。

COOL CHOICE

未来のために、いま選ぼう。

ぜひ「COOL CHOICE」に、ご賛同をお願いいたします。詳しくは「COOL CHOICE」公式HPへ!!

環境省 エコアクション 100